

## 5・3 愛媛憲法集会

# 守ろう 活かそう 日本国憲法 改憲論者は立憲主義を否定

(愛媛地本)

2014年5月3日 5・3 愛媛憲法集会に愛媛地本が参加

今年も松山市道後町にある県民文化会館（ひめぎんホール）メインホールに於いて 5・3 愛媛憲法集会が開催されました。



護憲派として、政党や市民運動の垣根を越えて結集するようになって 10 年になりました。

今年も 1000 人を超える人々が集まり、改悪改憲の声が増しに大きくなる昨今に対し、憲法や立憲主義の重要性について考える貴重な集会となりました。全自交愛媛地本は、「反原発へのいやがらせの歴史」についての展示や、恒例となった「平和の鳩」などを行い、会場エントランスとなる「平和のひろば」を精一杯盛り上げました。

記念講演では中央大学の植野妙実子教授が「憲法と国民の暮らし」と題し講演され、昨今の改憲の動きについて「立憲主義を否定している」と鋭く批判されました。自民党の憲法改正草案についても問題視しました。

その後、「憲法は危機に直面している。絶対に負けずに活かし守り抜く」との集会宣言を採択しました。

集会の後、参加者は手作りのプラカードやうちわ、風船、横断幕などを掲げ「憲法改悪反対！」など、シュプレヒコールを上げながらアピールパレードを行いました。

兵庫憲法会議での内田樹さんによる講演の本人による「要約 tweet」を紹介します。安倍自民党に対する非常に分かりやすい批判なのでご参考にしていただけたらと思います。兵庫憲法会議での講演 100 分勝負。「憲法はなぜこんなに軽んじられるのか」について話をしました。

憲法が軽い国で改憲しても、その憲法はさらに軽んじられる他ないのに。率先して公務員の憲法尊重擁護義務を放棄した総理大臣のところの憲法草案では公務員ばかりか全国民に尊重擁護義務を課しています。

自分は憲法を軽んじるが、国民はオレの憲法を軽んじることは許さないというのは、要するに尊重すべき憲法ではなくそのときの政府であるということになります。だったらいっそ憲法なんか廃止して「無憲法国家」をめざしたらいいんじゃないですか。大事なことは全部閣議決定で決めて政令でおろす。国会に諮ると合意形成に時間かかるから法律にはしないと、安倍さんはたぶんそうしたいんだと思いますよ。改憲





運動やめて「廃憲運動」に看板書き換えたらいんじゃないかな自民党は。だって立憲主義自体が「いや」なんだから。いっそ「帝政」にしたらどうかな。選挙で「皇帝」を選ぶの。選ばれた皇帝はきっとすぐに国会廃止して、「終身皇帝」を宣言するだろうから。ついでに自民党も消えるし。まじで「廃憲」政党に自民党は鞍替えすべきですよ。こっちの方がずっと筋が通っているもの。廃憲主義なら「自治体が護憲の集まりを後援することは罷り成らん」と言っても、「公務員には憲法遵守義務なんかない」と言っても筋が通る。国家を縛る憲法なんて自民党には不要！今日から看板

換えなよ！いや、だんだん本気になってきた。ほんとに自民党は党是を「改憲」ではなく「廃憲」にすべきですよ。憲法なんか要らない、行政府が全部決める。「政治に文句があるなら次の選挙で落とせばいい」んだし、「次選挙」そのものが「情勢混乱のためしばらく延期します」で済むんだから！